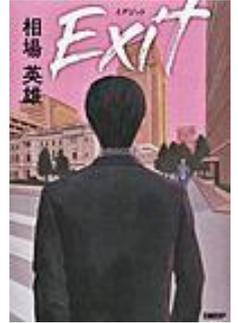


『イグジット』

相場 英雄／著 日経 BP (分類:Fア)

仙台の銀行に勤める女性が自殺する。月刊言論構想記者の池内は、かつての恋人が死んだ理由を探るうち、金融業界の末期的状況、さらにこの国の財政が直面する未曾有の危機を知り…。『日経ビジネス』連載に加筆・修正。



『ばあさんは15歳』

阿川 佐和子／著 中央公論新社 (分類:Fア)

高校入学を目前に、ふとした異変で昭和にタイムスリップした菜緒。愛想なしの祖母を相棒に東京タワーから始まる物語は、出会いと発見にあふれ…。孫娘とばあさんの時をまたぐ冒険を描く。『読売新聞』連載に加筆して単行本化。



『オルタネート』

加藤 シゲアキ／著 新潮社 (分類:カ)

高校生限定のマッチングアプリが必須となった現代。東京の高校を舞台に、3人の若者の運命が、鮮やかに加速していき…。悩み、傷つきながら「私たち」が「世界との距離をつかむまで」を描く。『小説新潮』掲載を加筆し書籍化。



『コンジュジ』

木崎 みつ子／著 集英社 (分類:Fキ)

独り、過酷な現実を生きている小学生のせれなの人生に伝説のロックスター・リアンが舞い降りた。その美しい人は、せれなの生きる理由のすべてとなって…。一人の少女による自らの救済を描く。『すばる』掲載を単行本化。



『商店街のジャンクション』

村木 美涼／著 早川書房 (分類:Fム)

人生に疲れた3人の男女が出逢ったのは、愛らしい犬のかぶりもの。かわるがわる中に入って、商店街で映画のチラシを配るうちに、各々の悩みはときほぐされていき…。岐路に立った人に贈る、体も心も包み込む物語。



『マスクは踊る』 東海林 さだお／著 文藝春秋 (分類:914 シ)

通販 CM のえげつなさに目を見張り、ズルばかりはびこる政治に赤面しつつ、コロナ禍のマスク顔観察に余念がなく…。東海林ワールド全開のエッセイに「タンマ君」傑作選を付す。『オール讀物』『週刊文春』掲載を単行本化。



『哲学と人類』 岡本 裕一郎／著 文藝春秋 (分類:130 オ)

なぜ 21 世紀の哲学者は「テクノロジー」について考えるのか。世界の哲学者はこれまで人間と技術について何を考え、哲学を展開してきたのか。古代から人新世まで、技術の哲学で「ホモ・サピエンスの終焉」を解き明かす。



『何とかならない時代の幸福論』

ブレイディみかこ／著 朝日新聞出版 (分類:304 ブ)

「みんな同じに」の圧力、下がり続ける暮らし…。どうする? 2020 年 3 月放送の NHK E テレ「SWITCH インタビュー達人達」のブレイディみかこと鴻上尚史の対談を未放送分も含め収録。2020 年秋の対談も掲載。



『命がけの証言』 清水 ともみ／著 ワック (分類:316 シ)

「強制収容所」の恐怖、文化的ジェノサイド…。ナチス・ヒトラーにも匹敵する習近平・中国共産党による弾圧を受けたウイグル人たちの「命がけの証言」に応じて、清水ともみがマンガで告発する。序章に楊海英との対談も収録。



『職場六法』 岩出 誠／著 講談社 (分類:366 イ)

不当な解雇や待遇、賃金格差、ハラスメントなど、職場でトラブルを抱えたときに、どの法律が働く人を助けてくれるかを、イラストとともにわかりやすい文章で解説する。相談窓口・相談方法・解決手段についても紹介する。



『子どもが喜ぶことだけすればいい』

佐々木 正美／著 ポプラ社 (分類:366 イ)

目の前の子どもが喜ぶことをしてあげれば、子どもはきっと自分に自信をもち、人を信じることができる。児童精神科医・佐々木正美の子育ての悩みに寄り添うメッセージブック。



『65歳からのふたりごはんの愉しみ』

石原 洋子／著 家の光協会 (分類:596 イ)

食べたいものを少しずつ、シニアならではの食べ方で。70歳を過ぎた料理研究家・石原洋子が、夫とともにふだん食べている食事を紹介する。豆腐、赤身肉、青魚、野菜などを使った、体も喜ぶ63レシピを収録。



『連作でよく育つ野菜づくり』

木嶋 利男／著 家の光協会 (分類:626 キ)

連作障害が起きないように工夫をして、連作の「おいしいとこ取り」をめざそう！連作によって生じる現象と連作の有効性、連作障害の対策技術等について解説するとともに、連作を実践し、成功している生産者も紹介する。



『重森三玲』

重森 三玲／著 平凡社 (分類:692 シ)

日本中の庭園を実測調査し、大著「日本庭園史大系」を編纂した一方、東福寺方丈庭園などの名庭を作り上げた「永遠のモダン」の求道者が、庭を作る楽しみ、観る楽しみを語る。重森三玲をもっと知るためのブックガイドも掲載。



『まくらが来りて笛を吹く』

春風亭 一之輔／著 朝日新聞出版 (分類:779 シ)

「まくら」とは、落語の本編に入る前の導入のお喋り。芸能、コロナ、スポーツ…。落語家・春風亭一之輔が、さまざまなお題を「まくら」を語るようにつづります。『週刊朝日』連載をまとめて単行本化。

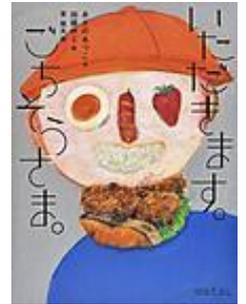


新しく入った 児童図書・YA (2/7) 予約受付いたします!

『いただきます。ごちそうさま。』

あさの あつこ／作 加藤 休ミ／絵 岩崎書店 (分類:Eカ)
ぼくは、たべるのがだいすきです。なんでもたべます。たべられます。ぼくは、
どんどんたべて、どんどんおおきくなり…。あさのあつこと加藤休ミが描く、世
にもおいしい怪談物語。

(小学校高学年～)



『三毛猫ホームズの宝さがし』

赤川 次郎／著 汐文社 (分類:913ア)

「宝の地図」を手に入れた男は、家の庭に宝物が埋まっていると信じて、穴を掘り続け…。地図は本物? にせ物? 片山義太郎刑事と妹の晴美、そして名探偵猫の三毛猫ホームズが謎を解き明かす。表題作ほか全3話を収録。

(小学校高学年～)



『はたらく細胞ウイルス&細菌図鑑』

講談社／編 講談社 (分類:493ハ)

新型コロナを正しく学んで予防しよう! アニメ「はたらく細胞」の内容に沿って、ウイルスや細菌のしくみと細胞の働きについて、豊富なイラストとともにわかりやすく解説する。「知っトクコラム」も収録。



『なんで洞窟に壁画を描いたの?』

五十嵐 ジャンヌ／著 新泉社 (分類:702イ)

古代のホモ・サピエンスは何を伝えようとしたのか。洞窟壁画の謎と美術のはじまりの答えを求めて、中学1年生の歴史好き女子・理乃は、東京、パリ、ボルドー、そして長野へと旅をする。ラスコー周辺の洞窟・岩陰ガイド付き。

